



Link つながる Live 生きる Learn 学ぶ Labour 労働 Liberty 自由

エル コンパス

宝塚市立男女共同参画センター・エル

2021 年 7 月 **Vol.45**

宝塚市立男女共同参画センター・エルは、すべての人が個人として、性にとられず、自分らしくいきいきと充実した生活を送ることができる「男女共同参画社会」の実現を目指すための施策推進の拠点施設です。センターの愛称“エル”は上記の5つのLの頭文字をとったもので、市民からの公募で決定しました。

特集

生理の貧困を“個人の我慢”で終わらせないために

男女共同参画スタディーズ 2021 開催報告	P.1
生理の貧困を“個人の我慢”で終わらせないために	P.2~P.3
講座案内：8月～11月	P.4~P.6
エルフェスタ案内・情報図書・LINE はじめました！	P.7
施設利用案内	P.8

「コロナ禍で見えてきたジェンダー平等へのこれから」 ～男女共同参画スタディーズ 2021 開催報告～



当センターでは毎年、6月23日～29日の男女共同参画週間の時期に合わせて男女共同参画への理解を深める基礎講座を開催しており、今年は6/5(土)から4週連続で、コロナ禍で改めて顕在化したジェンダーの問題を、長年DV被害女性やシングルマザーの支援をされてきた正井禮子さん(認定NPO法人 女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ代表理事)、男性学の第一人者でいらっしゃる伊藤公雄さん(京都産業大学 現代社会学部教授)、社会運動論が専門でSNSを含む若者文化に詳しい富永京子さん(立命館大学 産業社会学部准教授)、そして当センター指定管理者のNPO法人女性と子どものエンパワメント関西理事長である田上時子の4つの視点から振り返り、ジェンダー平等の社会に向けて、わたしたちが身近な所から行動出来る事を、参加者のみなさんと意見交換しながら考えていきました。みなさんからは「男性vs女性と対立するのではなく、相手の状況や思いを想像し、共生していく視点が大切だと改めて感じた」「お互いの生きづらさや辛さも言いあえる社会でありたい」「ジェンダー平等は社会や経済の発展だけでなく、私たちの人生そのものを豊かにすることを認識しました」「もっとジェンダーについて勉強したいと意欲がわきました」「自分も出来る事から始めたい」という感想を頂き、有意義な時間となりました。

特集

生理の貧困を“個人の我慢”で終わらせないために

【なぜ、生理の貧困が注目されたのか？】



経済的な理由などから生理用品を入手することが困難な状態にある「生理の貧困」。長引くコロナ禍による不況が深刻化する中、これまでも存在していたこの問題が、日本でもようやく可視化され注目されるようになりました。実は「生理の貧困」をめぐっては、ここ数年世界各地でも大きな“うねり”が起きており、制度や法律を変えるほどになっています。

たとえばイギリスでは、2020年から全国の小中高校で生理用品が無償提供されており、フランス、ニュージーランド、韓国などでも同様の動きがあります。英スコットランドは昨年、世界で初めて生理用品を必要とするすべての人への無償提供を義務づける法案を可決しました。それ以前に、ケニア（2004年）カナダ（2015年）オーストラリア（2019年）インド（2018年）など、生理用品の課税を撤廃していた国もあります。

その背景にあるのは、インターネットを通じて女性たちの“声なき声”がシェアされる様になったこと、さらに各国で女性議員数が増え、女性視点の法改正が進むようになった事などがあります。その結果「生理の貧困」を経済的な貧しさや格差の問題だけでなく、「女性全体にかかわる不平等」として捉えるべきだとの声もあがり、徐々に注目されてきたのです。

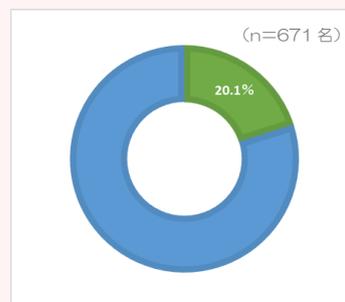
【生理の貧困による精神的・身体的苦痛、そして機会損失】

大学生らが立ち上げた任意団体「#みんなの生理」が2月中旬から実施した、高校生以上の学生を対象としたインターネット調査の結果（2021年3月2日時点）、671名の回答者のうち2割を超える若者が過去1年間に「金銭的理由で生理用品の入手に苦労した」と答えました。また「節約のため、生理用品の交換頻度を減らした」人は37%、「生理用品でないものを使った」人も27%にのぼりました。

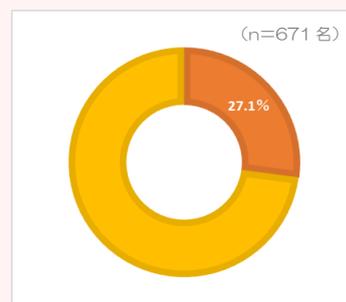
その主な背景として、コロナ禍でアルバイトが減り、生活費を切り詰めなければならなくなった学生たちの困窮や、親の経済状況により生理用品を買ってもらえない子どもの存在（18歳未満の子どもの貧困率13.5%～国民生活基礎調査2019より～）などが挙げられますが、この問題をきっかけに、不況の影響を受けやすい飲食系などのサービス業の従事者や、非正規雇用者に女性が多いという労働における男女の不平等や賃金格差、生理に対する男性の無理解など、従来からあったジェンダーの問題も改めて浮き彫りになりました。

生理用品でないものを使う場合、布切れやペーパータオル、トイレトーパーや新聞紙などを、代わりにせざる得ないケースがあるといいますが、こうした非衛生的な代用は精神的な苦痛や身体の不快感だけでなく、泌尿生殖器感染症など健康上のリスクを生じさせる可能性もあります。

金銭的理由で
生理用品を買うのに苦労した



生理用品で
ないものを使った



#みんなの生理 「日本の若者の生理に関するアンケート調査」のデータより作成

さらに、国際NGO「プラン・インターナショナル」が日本の15歳から24歳までを対象に生理がある人2000人を抽出してインターネットで行った調査（2021年4月報告）では、「生理によって遅刻・欠席・早退した経験がある」26.4%（527人）、「頻繁に遅刻・欠席・早退している」3.7%（74人）、「生理のたびに毎回遅刻・欠席・早退している」2.7%（54人）と、「生理の貧困」が学びの場や仕事への機会損失にもつながっている実態が浮かび上がってきました。



【社会の中でタブー視されてきた生理】

また同じ調査では、回答者のうち 36%が「生理用品の購入・入手をためらった経験がある」と答え、その理由として経済的な事情以外に、「恥ずかしいから」や「親/保護者が買ってくれない」などもある事もわかりました。父子家庭に育ち父親に言い出しにくい子や、生理用品をぜいたく品だとみなしたり、ネグレクト（育児放棄）の傾向のある家庭で生理用品を手に入れることが難しい子も少なくはありません。

「恥ずかしい」と思う背景や理由には、経血を“穢れ（けがれ）”と不浄視したり、月経中の女性を禁忌としてきた歴史や慣習が存在していた事や、性教育や生理教育が十分に行われないうまま、生理を「隠すべきもの」とタブー視してきた社会の偏見や無理解によって、生理について口に出すのをためらったり、生理用品を堂々と買いづらいといった、当事者たちの苦しみもあるのではないのでしょうか。

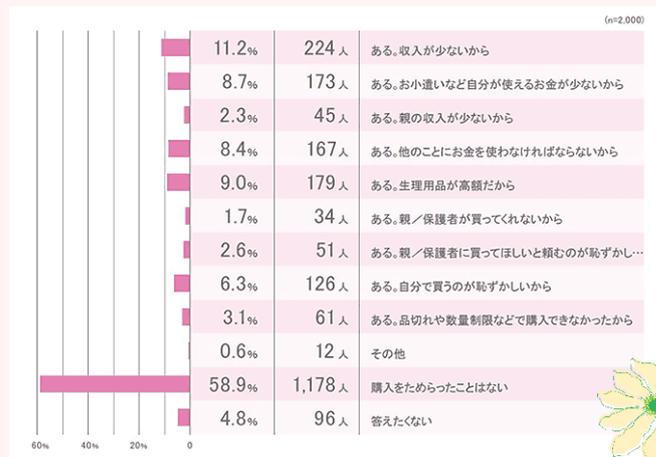
生理用品の購入・入手をためらった経験の有無

生理が理由で学校や職場を休んだ経験



国際 NGO ブラン・インターナショナル

「日本のユース女性の生理をめぐる意識調査」レポート（2021年4月）より抜粋



海外では、そのように生理をネガティブにとらえる社会の仕組み自体が問題なのでは、という疑問を投げかける動きもあり、日本でもようやく「従来の男性中心の社会の中では政治や行政も十分に理解ができず、女性も声をあげにくく、支援が行き届かなかった問題」として、今年3月に国会で「生理の貧困」が取り上げられました。その結果、政府は新型コロナウイルス対策支援の「地域女性活躍推進交付金（内閣府）」のうち、女性に寄り添った相談支援等に必要な経費として生理用品の無料配布も用途に加え、2020年度の予備費から約13億5千万円をあてることを決定。その後、自治体や学校などで生理用品の無料配布をする動きが相次いでいるのです。

【個人の問題ではなく、社会の問題として】

こうしてようやく支援の動きが始まってきた「生理の貧困」ですが、「生理」はその名の通り、生理現象であって決して恥ずかしいことではなく、生理用品は自分の身体を守るための必需品です。それゆえ生理用品へのアクセスは、一人ひとりの健康と尊厳にかかわる権利の問題であり、社会で安心して生活し、自己実現するために必要不可欠なものとも言えるのではないのでしょうか。

この問題は生理用品をたった1回無料配布すれば解決するものではありません。ただこのような動きが、性別を超えて困っている人の状況や背景を理解し、悩みに寄り添える社会への一歩に繋がれば…と願わずにいられません。

ぜひこの長年可視化されてこなかった「生理の貧困」の問題が、当事者だけでなく、家庭や職場、政治など、さまざまな場所におけるジェンダーの問題を考え、改善していくきっかけになればと思います。



「生理の貧困」広がる支援の輪：宝塚市でもはじまります！



詳細は決まり次第、HPや広報誌等でご案内いたします。

講座案内

8月~11月

講座はすべて
参加費・保育は無料です。
申込電話番号：0797-86-4006

親子育ちセミナー

7月5日(月)から受付

9月4日(土)・5日(日) 全2日間

3歳からのCAPワークショップ



CAPとは子どもを取り巻く暴力(いじめ、誘拐、虐待等)から自分で自分の身を守るためのプログラムです。子ども達に「自分の大切さ」を教え、一人ひとりが本来持っている力を引き出します。ディスカッションや人形劇を交えたワークで、3歳~就学前の子どもさんでも安心して楽しく参加できます。

●こどもワーク 全2日間

3歳~就学前の子ども 15人 ※子どもが参加する場合は、必ず保護者のおとなワークへの参加が必要です。

9月4日(土) 10:00~11:30: 子どもの権利・いじめロールプレイ・誘拐ロールプレイ

9月5日(日) 10:00~10:30: 性暴力ロールプレイ・先生ロールプレイ ※保護者は待合室で待機

●おとなワーク 1日のみ

子どもに関わる大人の方・保護者・祖父母・CAPに関心のある方 30人 ★大人だけの参加も大歓迎!★

9月4日(土) 10:00~11:30: 子どもへの暴力とは・CAPについて・ロールプレイの実演など

●講師: NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西スタッフ

●保育: 9月4日(土)のみ 10人(1歳~就学前まで) 要予約・先着順



エンパワメント講座

8月3日(火)から受付

9月1日~9月22日(毎週水曜日) 全4回 10:00~12:00

ストレスケアとプチCR体験~LOVE MY SELF♥自分に優しくなるためにできること~

家庭や職場などで、ついつい自分を責めてしまい自信をなくしてしまう時はありませんか?講座では女性のストレスやジェンダー格差についての知識を深めながら、CRというワークを通して自分の事を語り共有します。語る中で、自分の生き方を見つめ、自分らしさを意識できるようになる女性のためのグループワークです。

9月1日	女性のストレスについて/CRとは
9月8日	CR体験(家庭の中で気になる事)
9月15日	CR体験(家庭の外で気になる事 仕事、友達etc...)
9月22日	自分に優しくなるために ~自己肯定感を持つためのレッスン~

●講師: 井山里美さん(NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西 事務局長)

●対象: テーマに関心のある女性 15人 (全回参加できる方優先)

●保育: 10人(1歳~就学前まで) 要予約・先着順



サポートグループ

9月3日(金)から受付

10月29日~11月26日(毎週金曜日) 全5回 10:00~12:00

どうすればいい?身近にいる発達障害(未診断も含む)の人との関係

発達障害(未診断も含む)の家族やパートナーなど、身近にいる人の言動や行動に振り回され、自分はどのように接すればうまくやっていけるだろうかと悩み続けているうちに、あなたの心は疲れているかも…。伝わらない孤独感や虚しさ、辛い気持ちはあなただけではありません。サポートグループでモヤモヤした気持ちを話し合ってみませんか。

●ファシリテーター: 宮本由起代さん(NPO法人 心のサポート・ステーション代表理事/カウンセラー)

●対象: テーマに関心のある女性 12人 (原則として全回参加できる方)

●保育: 10人(1歳~就学前まで) 要予約・先着順



講座案内

8月~11月

講座はすべて
参加費・保育は無料です。
申込電話番号：0797-86-4006

起業・就労セミナー

9月3日(金)から受付

10月5日~10月26日(毎週火曜日) 全4回 10:00~12:00

家事や育児とバランスを取りながら小さくはじめる **自分サイズの起業塾**



「起業したいけれど何から準備していいかわからない」「家庭と仕事、両立できるか心配…」そんなお悩みの方はいらっしゃいませんか?先輩女性起業家のリアルな話や、ワークショップを通して、あなたにあった起業の仕方と一緒に考えましょう。今すぐの起業でなくても大歓迎!新たな自分を発見し、仲間とも出会えるチャンスです。

10月5日	起業は不安?自分の気持を整理しよう
10月12日	起業と家計 最適バランスを見つけよう
10月19日	身の丈にあった自営業をはじめめるコツ
10月26日	小さな事からはじめてみよう



- 講師: 10/5・12 長谷部敦子さん(生き方デザイン設計室代表) 10/19・26 高島千晶さん(楽天堂代表)
- 対象: テーマに関心のある女性 20人 (全回参加できる方優先)
- 保育: 10人(1歳~就学前まで) 要予約・先着順

情報リテラシー

9月3日(金)から受付

10月16日~10月30日(毎週土曜日) 全3回 13:30~15:30

ジェンダー視点から読み解く **メディア・リテラシー講座**

コロナ禍で在宅時間も増え、私たちが最新の情報を求めて使用するインターネットの利用時間が圧倒的に増加しました。ニュースをじっくり読むようになった、という方もあるかも知れません。「フェイクニュース」と呼ばれるものも含め様々な情報があふれるメディア社会を主体的に生きるためには、日常のメディアとどう向き合っていけばいいのでしょうか。3回の講座では、メディアとは何か、メディアが日々伝えるものの考え方をジェンダーの視点から読み解くために、参加と対話のワークショップで考えます。

10月16日	メディア・リテラシーとは
10月23日	CMをジェンダーの視点から読み解く
10月30日	ニュース報道の見方、つきあいかた

- 講師: 西村寿子さん 田島知之さん(NPO法人FCTメディア・リテラシー研究所)
- 対象: テーマに関心のある方 30人 ●保育: 10人(1歳~就学前まで) 要予約・先着順



男性セミナー

10月4日(月)から受付

11月13日・27日 12月11日(隔週土曜日) 全3回 13:30~15:30

~人生100年時代、どう生きる?~ **50歳からのライフデザイン**

「そろそろ人生折り返し地点。なんとなくこのままでいいのかな?」そんな不安のある男性へ。同じような悩みを持つ者同士、安心できる場で気軽に話してみませんか?自分とは違う価値観や人生観を知ったり、あるある話に共感したり。新たな気づきや、自分らしい生き方のヒントが見つかるかも。長年男性相談にたずさわってきたファシリテーターが進行します。

- ファシリテーター: 安部達彦さん(一般社団法人日本男性相談フォーラム理事)
- 対象: テーマに関心のある男性 20人 ●保育: 10人(1歳~就学前まで) 要予約・先着順

変わらなきゃって
言われてもなあ



講座案内

8月~11月

講座はすべて
参加費・保育は無料です。
申込電話番号：0797-86-4006

ほっとサロン

8月3日(火)から受付

9月28日(火) 13:30~15:30

わたしに戻る 読書の時間



飲み物つき☆



情報・図書コーナーにある図書や雑誌を読んでリフレッシュ。
子育てからちょっと一息、時には『ママ』から『わたし』に戻る時間を過ごしてみませんか。

10月28日(木) 13:30~15:30

9月3日(金)から受付

わたしに戻る 映画の時間 「ハープ&ドロシー アートの森の小さな巨人」アメリカ/2008年/87分

充実しているけど、家事に育児にあわただしい毎日。エルで過ごす『わたし』だけの映画の時間をどうぞ♪
郵便局員のハープと図書館司書のドロシー、慎ましい生活の中で約30年かけて買い集めた作品は、20世紀のアート史に名を残す作家の名作ばかりに！ある日、アメリカ国立美術館から寄贈の依頼がやってきて…。



- 対象：子育て中の女性 20人
- 保育：10人(1歳~就学前まで) 要予約・先着順

パープルリボンカフェ

予約不要・当日センターにお越しください

11月30日(火) 10:00~12:00

パープルリボンカフェ



皆でパープルリボンづくりをしませんか？リボンにお好みの飾りをつけるだけ。お茶を飲みながら手を動かして、みんなで“わいわい&ちくちく”しましょう！フレンドシップキルトもあります。

- 持ち物：裁縫道具（お持ちであれば糸・針など。センターでも用意しています。手ぶらでどうぞ♪）
- ☆一時保育はありませんが、お子さん連れも参加OKです☆

市民力開発講座

10月4日(月)から受付

11月5日(金) 13:30~15:30

～家族社会学者と考える～百まで生きる覚悟とは？

元気長寿者、高齢者、介護や世話を担う家族に聞き取りを重ねた中で見えてきた高齢期の現実。悲惨な状況に陥るリスクを少しでも減らすことは出来ないのでしょうか。私たちが備えておきたい超長寿時代の「身じまい」の作法について、そして「人は何歳になっても変わり続けることができる」という力強いメッセージがあります。

- 講師：春日キスヨさん（高齢社会をよくする女性の会・広島 代表）
- 対象：テーマに関心のある方 30人
- 保育：10人(1歳~就学前まで) 要予約・先着順



感染予防対策実施中



宝塚市立男女共同参画センターでは、新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインに沿って講座等を開催致します。ご利用にあたっては随時HP等をご確認の上ご協力をお願いいたします。

※イベントの変更・中止・延期、センターの閉館・休館については随時HP等をご確認ください※



エル・フェスタ



主催：宝塚男女共同参画センター連絡協議会・宝塚市立男女共同参画センター

親子で楽しめるイベントです！♪ ご来場おまちしています♪ 入場無料（一部有料）

<p>人形劇「みにくいあひるのこ」★ 併演：おかしなおかしなパペットショー 宝塚ふぁみりい劇場 ①11:00～11:50 ②13:30～14:20 定員：各回 35 人 参加費一人¥500（3才～大人）</p>	<p>親子でほっこり絵本の時間★ NPO 法人「絵本で子育て」センター支部絵がお ①10:00～10:30 ②12:50～13:20 定員：各回 12 人</p>
<p>ふ～せんで笑顔いっぱい♪ ふ～せんづくり バルーンアート同好会「ふ～せんや」 ①10:00～ ②11:15～ 定員：各回 20 人 材料費 1 セット¥100</p>	<p>おもろいマジックやで！ コロナに負けへんで！あれれ～？～？ ①12:00～12:30 ②14:25～14:55 宝塚マジック同友会 定員：各回 20 人</p>
<p>アマビエでコロナをぶっとばそう！ 工作づくり 新日本婦人の会 13:00～15:00 定員：20 人 材料費 1 セット¥100</p>	<p>★エルフェスタ 企画支援事業 8/3（火）から電話（0797-86-4006）窓口にて受付 詳しくはHPをご覧ください </p>

事前予約制（各回入替制・複数参加可・先着順）

※新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、本年度はすべてのイベントを事前予約制とさせていただきます。

「LINE」はじめました！
 センターの講座やイベントを毎月お知らせします。
 登録は無料です。

スマートフォンでQRコードを読み取るか、ID検索をして友だち追加登録をしてください。



ID : @763zrxid

情報図書

女性問題の解決や男女共同参画社会をめざすさまざまな活動をサポートする情報を収集し発信しています。
図書貸出は[お一人5冊・2週間]です。
 宝塚市在住以外の方も借りられます。



図書担当のおススメ本



田辺聖子さんの傑作がマンガ化。主人公ジョゼとジョゼが知り合った青年それぞれが、自分の先にある光(未来)を見つけ、そこへいくまでの絶妙な心理描写に心が揺さぶられました。私にとって手が届かないもの、もしくは届かないと思い込んでいるものは何だろう…。誰かの背中を押して、また自分も押されて生きていく…など、読後もしばらく余韻に浸ってシーンと心温まるコミックです。

「ジョゼと虎と魚たち（上）（下）」
 漫画＞絵本 奈央 原作＞田辺聖子
 2020/10 KADOKAWA

開催予告

令和3年度
宝塚市男女共同参画プラン推進フォーラム

田嶋陽子さん講演会

「私を生きるために」

2021年12月12日（日）
 13:30～15:30

受付 10/4（月）から
 詳しくは決まり次第

HP等でお知らせいたします



施設利用案内



詳しくはセンター、またはセンターのHPで
<https://www.takarazuka-ell.jp>
 電話番号：0797-86-4006

学習交流室等のご利用

センターでは、学習交流室（5室）とプレイルームを有料でお貸ししています。グループ活動・ミーティング・講演会等にご利用いただけます。

活動内容・利用者の居住地により受付開始日や料金が異なりますので、詳しくは受付までお問い合わせください。

※営利を目的とした活動（「カルチャー教室」や「おけいこごと」の指導者による利用を含む）はご利用いただけません。



女性のための相談室

予約番号：0797-86-4006

電話相談	月・火・木・金・第2、3、4土曜日 10時～12時／13時～16時 直通電話（予約不要）：0797-86-3488
面接相談	第2・4水曜日 10時～、11時～、12時～ ※要予約・相談時間 50分
法律相談	第1土曜日（原則） 14時～、14時45分～、15時30分～、16時15分～ ※要予約・相談時間 45分（市民対象 原則1人1回限り）
起業相談	第1・3水曜日 10時～、11時～ ※要予約・相談時間 60分
チャレンジ相談	第1水曜日（原則） 11時～、12時～、13時～ ※要予約・相談時間 50分



※電話相談以外はすべて一時保育あり（要予約） 年末年始及び祝日の全相談業務はありません。

セクシュアルマイノリティ電話相談

専用電話番号：0797-71-2136

毎週水曜 15時～18時（祝日・年末年始を除く）（問い合わせ：宝塚市役所 人権男女共同参画課）

自分の性や性的指向に伴う相談をはじめ、さまざまな相談に応じます。本人、家族、友人、教員などなたでも相談できます。

宝塚市立男女共同参画センター・エル

指定管理者

NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西

開館時間：月曜日～土曜日（9時～21時）

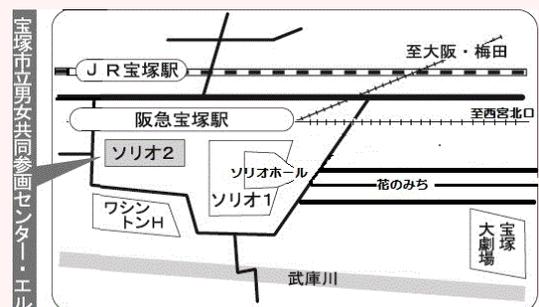
日曜日・祝日（9時～17時）

休館日：毎月第2日曜日・年末年始

〒665-0845 宝塚市栄町2-1-2「ソリオ2」4階

TEL：0797-86-4006 FAX：0797-83-2424

Facebook



ホームページ：<https://www.takarazuka-ell.jp/>
 メール：elsenternpo-empower@takarazuka-ell.jp